

## アセスメント表

記録：相談室クリエイト

相談支援専門員：平和 通

相談日時	令和 X 年 3 月 1 日
氏名	26 歳 男性 広汎性発達障害 障害支援区分 3 (月 1 回精神科受診)
望んでいる暮らし	全体 「両親には世話になっているので、迷惑はかけたくない」 「困っていることは相談できるようになりたい」 「3 年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」 生活面 「自分のことは自分でできるようになりたい」 「将来はアパートで生活をしたい」が「今は朝中々起きられない」し「掃除や洗濯など身の回りの事ができない」「お金を使いすぎてしまうかもしれないのが不安」 「時折話せる友人がいるとよい」 就業面 「3 年後くらいにはまた働きたい」 「今は働くことに自信はないので力をつけたい」 「どんな仕事が自分に合っているのかわからない」 「パソコンは得意な方だと思うが、仕事に結びつくかわからない」
心身の状況	身 170 cm 体重 65 kg 特に問題はない。本人は少し太り気味なのを気にしている。
精神面の状況	昔のことを思い出して、落ち込んでしまうことがある。
生活の自立度	朝起きるのが苦手で生活リズムは安定していない。ADL は自立している。家事は練習すればできるようになるのではないかと。やり方や手順は確認する必要がある。自分の趣味や興味のあるものは買い物ができるが、洋服など生活に必要なものは母が購入していたため、自分で購入したことはない。
気持ちの自立度	家を離れて暮らすことに関しては経験がないが、両親と離れることの戸惑いはない。
服薬状況	気持ちが落ち込んだ時に飲む頓服を処方。
経済状況	【収入面】親の援助で生活。今後は生活保護を申請する予定。 【支出面】グループホームの費用 家賃 36,000 円 (家賃補助 10,000 円) 食費 20,000 円 光熱水費 15,000 円 日用品費 3,000 円 生活費 20,000 円 欲しいもの、買いたいものがあると使ってしまうことがある。
趣味	インターネット等でのゲーム
キーパーソン	両親
家族	共に健康。何かあれば支援をしていただける。本人の将来のことに関しては心配してい

	る。
就業	人の話を聞くことはできるが、聞いたことと違う回答が返ってくることもある。話しているときも、まとまりのある会話ができなく、説明をし続けている。手先も器用ではなく、アルバイトでは紐を結ぶことも何度も練習していたとのこと。仕事が長く続いた経験がないので仕事に対する自信はない。アルバイト先での人間関係も上手に作る事ができず、人間関係の面でも悩んでいるのと、何度教えても覚えられないことを強く叱責されたことがあり、また注意されるのかということに心配している。自分から質問をするのが苦手であるということ。「今後は長く働く場所を見つけない」「3年後には働いていたい」「わからないことがあれば丁寧に教えてもらいたい」と働きたい意欲はある。移動手段は公共交通機関と徒歩。

## 本人の特性

- 優先順位がつけるのが苦手
- 抽象的な表現は苦手。
- 手先は不器用。
- 体の使い方に独自なところあり。
- お金を使いすぎてしまうことあり。
- 自分から質問をするのが苦手。